



のびのび いきいき 生涯学習

生涯学習グループの紹介

現在、都留市内において各種団体に所属し、活動している学習グループや自主的に学習しているグループを紹介します。

こんにちは【ベリータ】です

「ベリータ」は、平成三年七月二十日、澤田先生の下で歌いたいというメンバーが集まり結成された女声合唱団です。「ベリータ」とは、イタリア語の「真実」という意味で、結成の日が集まったメンバーが、その日の誕生花である茄子の花言葉から決めた名前です。

発足時、十人足らずだったメンバーが、今では倍以上に増え、澤田先生の前向きなパワーの炸裂とともに、合唱中毒ウイルスは、ますます広がっています。



元気に一生懸命歌う「ベリータ」の皆さん

ただし、この合唱中毒ウイルスは、質の悪いインフルエンザなどとは違い、くじけそうな時や、落ち込んでいる心に効果のある善玉菌ですのでご安心いただき、たくさんのお勧めいただきます。

そして、この善玉菌を育む絶対条件が仲間です。合唱こそ一人ではどうにもなりません。合唱を通して知り合った、年齢も、仕事も、立場も違う仲間たちは、週一度何もかも忘れ、歌うことに集中する二時間の練習を重ねるうちに、息づかいからコンディションまで感じられる、大切な宝物になりました。

そんな私たちが、平成十二年六月二十五日、うぐいすホールにおいて、結成十周年のコンサートを予定しています。数え年でのコンサートではありませんが、満十周年の年、合唱連盟の事務局という大役をお引き受けすることに、団員一同がんばっている次第です。

ベリータは、「明るく、元気に一生懸命」歌うことを楽しむグループでありたいと思っています。皆さんのご支援を、よろしくお願いします。

問合せ 重原真澄 ☎(43)1497

俳句の力の素晴らしさ！

【都留市俳句連盟】

都留市俳句連盟には現在、十教室があり、個々の教室の月一回の例会はもとより、連盟として四季を通じて合同の大会を開催しています。また、県下俳句大会、郡内俳句大会そして、都留市ふれあい全国俳句大会などのイベントを行い、それぞれの感性に磨きをかけ、日々に感動と発見を求めて生きている証として、活力の一助にと努力しています。

先ごろ連盟初の試みとして福祉吟行会と銘打って、甲府市の特別養護老人ホーム「快晴苑」に三十余名の会員が訪問しました。各自が一句を持参し、会長ほか二人が自分の句を読み、その句の意味を語り、心から励ましのエールを送りました。



養護老人ホームでの俳句会

そして、その場で詠んだ即興の句を披露し、苑の皆さんと心からあたたかな交流ができました。ことは、思いのほか、喜びでした。正直いってこの訪問が空振りには終わるのでは、との不安がありました。最後には別れのバスに手をふる車椅子の方々と苑長さんに見送られながら、これを機に「快晴苑」の方々が俳句に親しみ、生きる楽しみと意欲が湧いてくることを願っています。今までに経験したことのない感動で快晴苑を後にしました。俳句の力の素晴らしさを改めて感じました。

皆さん生涯を通じて勉強できる俳句の会に入会しませんか。心のつばやきを書きとめる自分史のようなものです。

第七回ふれあい全国俳句大会が、平成十二年五月二十八日(日)に開催されます。応募作品の受け付けが、十一月一日～十一月三十日(当日消印まで)になっています。奮ってご応募ください。

問合せ 都留市俳句連盟向上委員会

山田美佐子 ☎(43)6418